

東京大学（白金台）2号館空調設備改修工事

I 工 事 概 要

1. 工事場所 東京都港区白金台4丁目6番1号（東京大学構内）

2. 完成期限 令和 9 年 6 月 30 日（水曜日）

3. 建物概要

建 物 名 称	2号館			
工 程	改修			
構 造	RC造			
階 数	地下1階/地上4階			
建築基準法による	建築面積 (㎡)	704		
	延べ面積 (㎡)	4,099		
消防法施行令別表第一の区分	7項			
改修面積 (㎡)	-			
建物使用の有無	有			

4. 工事種目（●印の付いたものが対象工事種目）

建物別及び屋外	工 事 種 目 別			
工 事 種 目	2号館			
●空気調和設備	一式			
●撤去工事	一式			
●発生材処理	一式			

5. 指定部分 ●無 ○有 対象部分（指定部分工期 年 月 日）

6. 概成工期 ●無 ○有 令和 年 月 日（曜日）
（第1編1.1.2）[第1編1.1.2]

7. 設備概要（●印の付いたものを適用する）

方式及び種別	設 備 概 要
空調方式	●ビル用マルチエアコン

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様

（1）東京大学工事請負契約要領別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、図面13枚及び本特記仕様書2枚によるほか、●印の付いたものを適用する。

● 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)

● 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「改修標準仕様書」という。)

● 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「標準図」という。)

● 文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(令和4年版)(以下「文科仕様書」という。)

● 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)

● 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)(以下「改修標準仕様書」という。)

● 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和7年版)(以下「標準図」という。)

● 工事写真撮影要領(令和5年版)

（2）建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
なお、建築工事の特記仕様書は（ ）図、電気設備工事の特記仕様書は（ ）図による。

2. 特記仕様

（1）本特記仕様書の表記

1）項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。

2）項目に記載の（第 編 . . . ）内表示番号は、標準仕様書の該当項目番号を示す。

3）項目に記載の〔第 編 . . . 〕内表示番号は、改修標準仕様書の該当項目番号を示す。

4）項目に記載の＜第 編 . . . ＞内表示番号は、文科仕様書の該当項目番号を示す。

●適用区分

●電気保安技術者
(第1編1.3.2)
[第1編1.3.2]

●施工条件
(第1編1.3.3)
[第1編1.3.3]

●環境への配慮
(第1編1.4.1)
[第1編1.4.1]

●機材の品質等
(第1編1.4.2)
[第1編1.4.2]

○機材の検査等
機材の検査に伴う試験
(第1編1.4.5~6)
[第1編1.4.5~6]

○施工調査
[第1編1.5.1~3]

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる

●風圧力

風速 (V0= 34 m/s)

地表面粗度区分 (Ⅲ)

●積雪荷重

建設省告示第1455号における区域 別表 (二十四)

この工事現場に、下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。

項 目 名	電 気 保 安 技 術 者
1. 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	●
2. 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●
3. 高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	●
4. 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	●
5. 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	●
6. 第1種電気工事士の資格を有する者	●
7. 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
8. 第2種電気工事士の資格を有する者	○
9. 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	○

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

・本工事は、建物を通常利用しながら施工を行う「居ながら施工」であるため、騒音、振動、粉じん、臭気等の発生を最小限に抑えること。

・空調設備の切替は施設利用への影響を考慮し、原則として4月上旬から6月中旬までの期間に実施すること。また、空調停止期間を極力短縮するため、室外機の更新は2回以上に分けて実施すること。

(1) 本工事中において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月閣議決定）」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。

④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

(3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

(4) 機器の性能は建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）に基づいた性能基準を満たすものとする。

（1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

監督職員の行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。

機 材 名	検 査 試 験	備 考
	○ ○	
	○ ○	
	○ ○	
	○ ○	

事前調査 ○本工事 ○別途

調査内容 ○既存資料調査

調査項目 ○図示 ○

調査範囲 ○図示 ○

調査方法 ○図示 ○

○技能士
(第1編1.5.2)
[第1編1.6.2]

○施工の検査等
検査に伴う試験・立会い等
(第1編1.5.4~6)
[第1編1.6.5~7]

○技術検査
(第1編1.6.2)
[第1編1.7.2]

●完成時の提出図書
(第1編1.7.1~2)
[第1編1.8.1~3]

●安全に関する資料
(第1編1.7.3)
[第1編1.8.4]

●他工事又は他工種との取合い

●電動機
(第2編1.2.1)
[第2編1.2.1]

●電源周波数

●容量等の表示

●総合試運転調整
(第2編1.3.1~3)
[第2編1.3.1~3]

●足場その他
(第2編4.1.1)
[第1編2.2.1~3]

○埋め戻し土・盛土
(第2編4.2.1)
[第2編7.1.1]

○建設発生土の処理方法
(第2編4.2.1)
[第2編7.1.1]

○地中埋設標等
(第2編2.7.1~3)

下記の職種及び作業に適用する。

○配管（配管工事） ○建築板金（ダクト製作及び取付）

○熱絶縁施工（保温工事） ○冷凍空調調和機器施工

下記の施工部分は、監督職員の検査・立会い・検査に伴う試験を受ける。

施 工 部 分	検 査 立 会 試 験	備 考
	○ ○ ○	
	○ ○ ○	
	○ ○ ○	

工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。

名 称	体 裁 等	部 数
●完 成 図	原図	1
●完 成 図	見開きA3版複製本	2
○施 工 図	原図	
●施 工 図	○電子媒体 ・見開きA3版複製本	1
●完 成 図 書	黒厚表紙金文字入り製本	
・完成図		
・機器完成図		
・各種試験成績書		
・機器取扱説明書		
・保全指導書		
・関係官庁届出書(写)		
・マニフェスト(写)		
●工 事 写 真 帳	○電子媒体 ・紙媒体(ファイル綴じ)	1
CADデータ（●要 ○不要）		
貸与する設計図のCADデータ著作権社名：東京大学 ファイル形式：jww		
貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成の為に以外に使用しないこと。		
ファイル形式及び提出方法： ファイル形式：JWW、DXF及びPDF 提出方法：CD又はDVDに保存し、1部提出する。		

●耐震措置

●配管
(第2編第2章)
[第2編第2章]
<第2編1.1.1>
<第2編2.1.1>

●絶縁継手
(第2編2.2.12)
[第2編2.1.1]

●試験
(第2編2.9.1~5)
[第2編2.7.1~5]

●保温
(第2編3.1.1~6)
[第2編3.1.1~3]

●塗装
(第2編3.2.1)
[第2編3.2.1]

●電線類
(第2編4.7.1)

●電線の色別
(第2編2.1.3)
(第3編1.1.4)
[第2編2.1.4]

●既存躯体への穿孔
[第2編5.2.1]

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて建築設備耐震設計施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。

（1）機器の据付け及び取付け

設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数 A₀及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

	機器種別	○特定の施設 重要機器	●一般の施設 一般機器	●一般の施設 重要機器	一般機器
上 層 階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの

・水槽類にはオイルタンクを含む。

・重要機器は次による。

防災の用途に使用される設備機器

（2）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1／2とする。

（3）吊りボルト等で吊り下げる機器は1m以上となる場合、全て振れ止めを行うこと。

（1）ステンレス鋼管の接合は、下記による。

○呼び径60S u以下（OSAS322を満足した継手 ○ ）

（2）溶接部の非破壊検査 ○不要 ○要

（3）耐火2層管は各階立管に1箇所、伸縮継手を設置すること。

給水、給湯、開放系の冷水水及び冷却水機器接続部の金属材料と配管材料のイオン化傾向が大きく異なる場合(銅とステンレス、銅と銅)は絶縁継手を使用し絶縁を行うものとする。

既設配管を含む部分の試験●要（方法及び圧力： ）
○不要

標準仕様書第2編によるほか次による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。

○多湿箇所は下記による。

○共同構内の保温種別は下記による。

次の露出配管は、塗装又は記載の仕上りとする。

●屋外：●金属電線管（●溶融亜鉛メッキ仕上り[付着量300g/㎡以上]）
○指定色塗装

●配管架台（●溶融亜鉛メッキ仕上り）
●ドレン管（●指定色塗装）

○屋内：○消火、ガス管（○指定色塗装 ○ ）

配線及び主回路の導体の色別は、次による。

○標準仕様書による。

●配線及び主回路の導体の色別は、下記による。

電気方式	第1相	第2相	第3相	中性相	
高圧	三 相 3 線 式	赤	白	青	
	三 相 3 線 式	赤	接地側 白	黒	
低圧	三 相 4 線 式	赤	青	黒	白
	単 相 2 線 式	赤 (青)	接地側 白		
	単 相 3 線 式	赤	青		白
	直 流 2 線 式	青	白		
配線	(1) 分岐回路の色別	分岐前の色別による。			
	(2) 発電回路の第2相	接地側の電線の色は黄色とする（無停電回路含む）			
	(3) 切替回路の2次側	規定しない。			
線	(4) 漏電遮断器回路の接地	専用接地極とした時の接地線は、監督職員と協議し、一般接地線と色別を区別する。			
分電盤類	共通事項	配線（1）～（4）による。			
	左右・上下及び遠近の別は、正面から見た状態	ア) 左右の別は、左からとする。 イ) 上下の別は、上からとし、直流2線式は、下からとする。 ウ) 遠近の別は、近いほうからとし、直流2線式は、遠いほうからとする。			

備考 (a) 配電盤類については、次による。

(1) 左右、遠近の別は、各回路部分における主となる開閉器の操作側又はこれに準ずる前から見た状態とし、分電盤類による。

(2) 三相相間又は三相3線式回路より分岐する回路は分岐前の色別による。

(3) 三相交流の相は、第1相、第2相、第3相の順に相回転するものとする。

(b) 屋外架空配線の色別は、本表によらなくてよい。

(c) 接地線の色別は、監督職員の承諾を受けること。

穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる附属装置等を用いて施工する。

●はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に下記の方法により埋設物調査を行い、監督職員に報告する。

○走査式埋設物調査 ●放射線透過検査

共通事項

設計業務名

工事名称

東京大学（白金台）2号館空調設備改修工事

図面名称

特記仕様書（1）

縮尺

A1 N.S
A3 N.S

年度

R 8

図面番号

特-01

●設計温湿度

	外 気		屋 内	
	一般系統	一般系統	一般系統	一般系統
	温 度	湿 度	温 度	湿 度
夏 季	34.3℃	56.4℃	26.0℃	成行
冬 季	2.0℃	28.9℃	22.0℃	成行

銅板厚（○3．2mm ○4．5mm）

○低圧ダクト（○コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）
○アングルフランジ工法）
○スパイラルダクト（○低圧 ○ ）
○図示による。

（1）内貼を施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（2）空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお、大きさは図示による。
（3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバーは雨水の滞留のないように施工する。

（1）防煙ダンパー 復帰方式 遠隔復帰式（定格入力DC24V）
（2）防火ダンパー 復帰方式 手動式

配管材料は（ ○ 下記による。 ● 図示による。）

- （1） 蒸気管 給気管 ○
還管 ○
（2） 油管 ○
（3） 冷温水管 ○
（4） 冷却水管 ○
（5） ドレン管 ○
（6） 冷媒管 ○

○図面に特記なき場合の耐圧は、J I S又はJ V 5 K とする。
○ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
○ファンコイルユニットと冷温水管の接続部（往・還）には、ボール弁を取付ける。
●図示による。

制御盤には（○給油ポンプ制御 ○返油ポンプ制御 ○漏えい検知警報
○満油警報 ○減油警報 ○遠隔警報）の端子を設ける。なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。

標準仕様書第2編3．1．4によるほか、次による。
○蒸気通り管の保温不要（屋内露出は除く。）
○遠気ダクトの保温要（保温の範囲は図示による。）
○外気ダクトの保温要（保温の範囲は図示による。）
○膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3．1．4の温水管の項による。
○建物内のエア抜き管の保温は、標準仕様書第2編3．1．4の温水管の項による。（エア抜き弁以降の配管は除く。）
○空気調和機、ファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3．1．5の排水管の項による。
○冷媒管の保温厚さは液管10mm・ガス管20mmとし、外装は次による。
○機械室（ ）
○屋内露出箇所（ ）
○屋外露出箇所（ ）
○冷媒管の断熱材の継目端面部は、専用接着剤を塗布し、端面同士がずれないように専用シート等を用いて仮止めし貼り合わせる。

●撤去工事

●撤去内容
[第1編4.1.1
～4.2.4]

●発生材の処理等
[第1編5.1.1
～2]

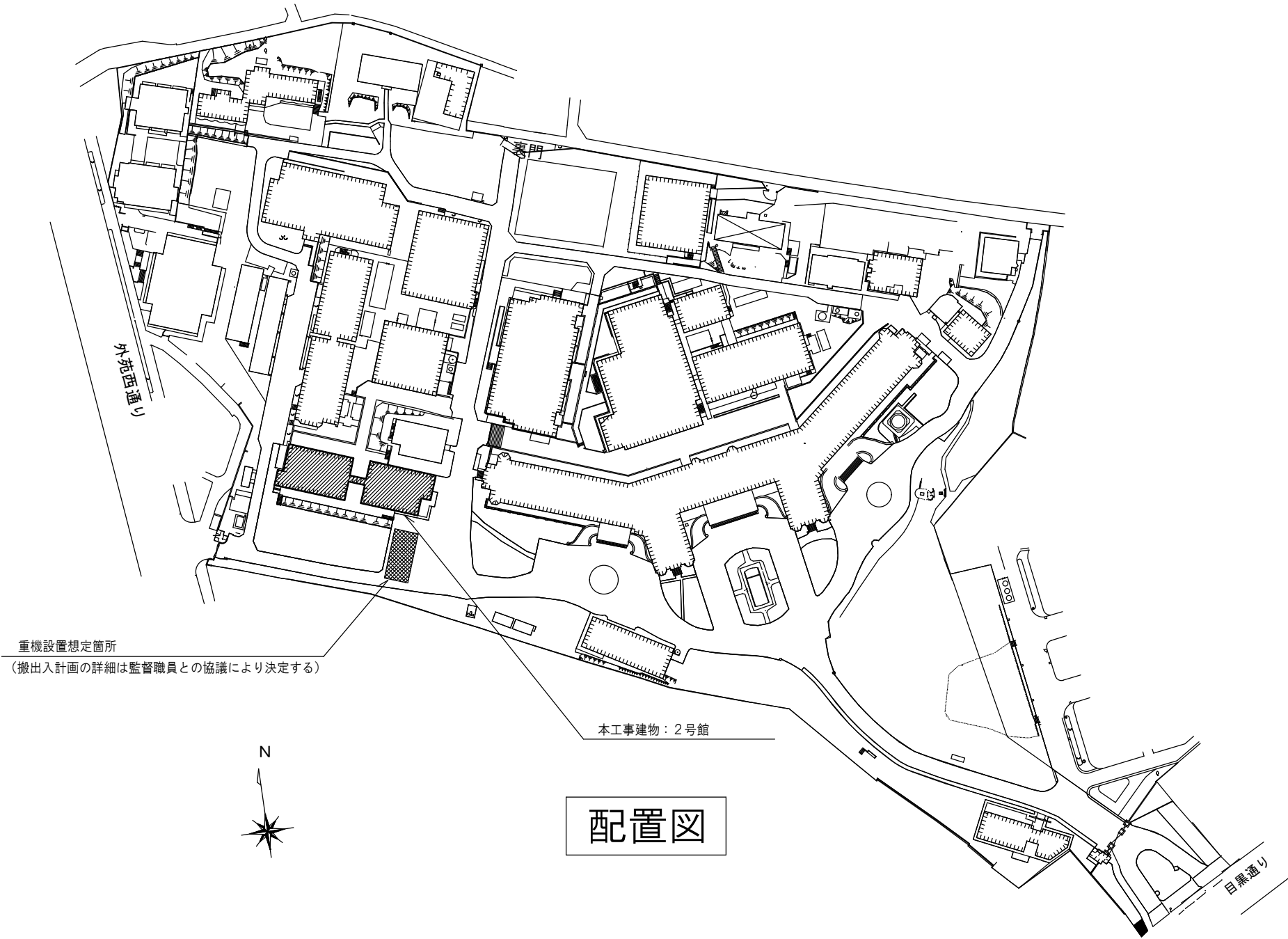
●改修後に使用しない既設開口孔埋め・タッチアップ補修は本工事とする。
●アスベスト撤去処分は関係法令等に基づき適切に処理すること。
●図示による。

発生材の処理は、下記による

- (1) 引渡しを要するもの
1) 品 名
2) 引渡し先
3) 集積場所
4) 集積方法
(2) 特別管理産業廃棄物
1) 品 名 2) 処理方法
(3) 現場において再利用するもの
1) 品 名
2) 使用場所
(4) 再生資源化するもの
1) 品 名
(5) その他の発生材
1) 品 名 : 全発生材 2) 処理方法 : 関係法令に従い適切に処理

敷地概要

所在地	東京都港区白金台4－6－1
敷地面積	68,907 (㎡)
用途地域	第1種中高層住居専用地域
防火地域	準耐火地域
その他	高度地区
建築面積	16,353 (㎡)
延べ面積	83,322 (㎡)
建蔽率	23.7 %
容積率	120.9 %

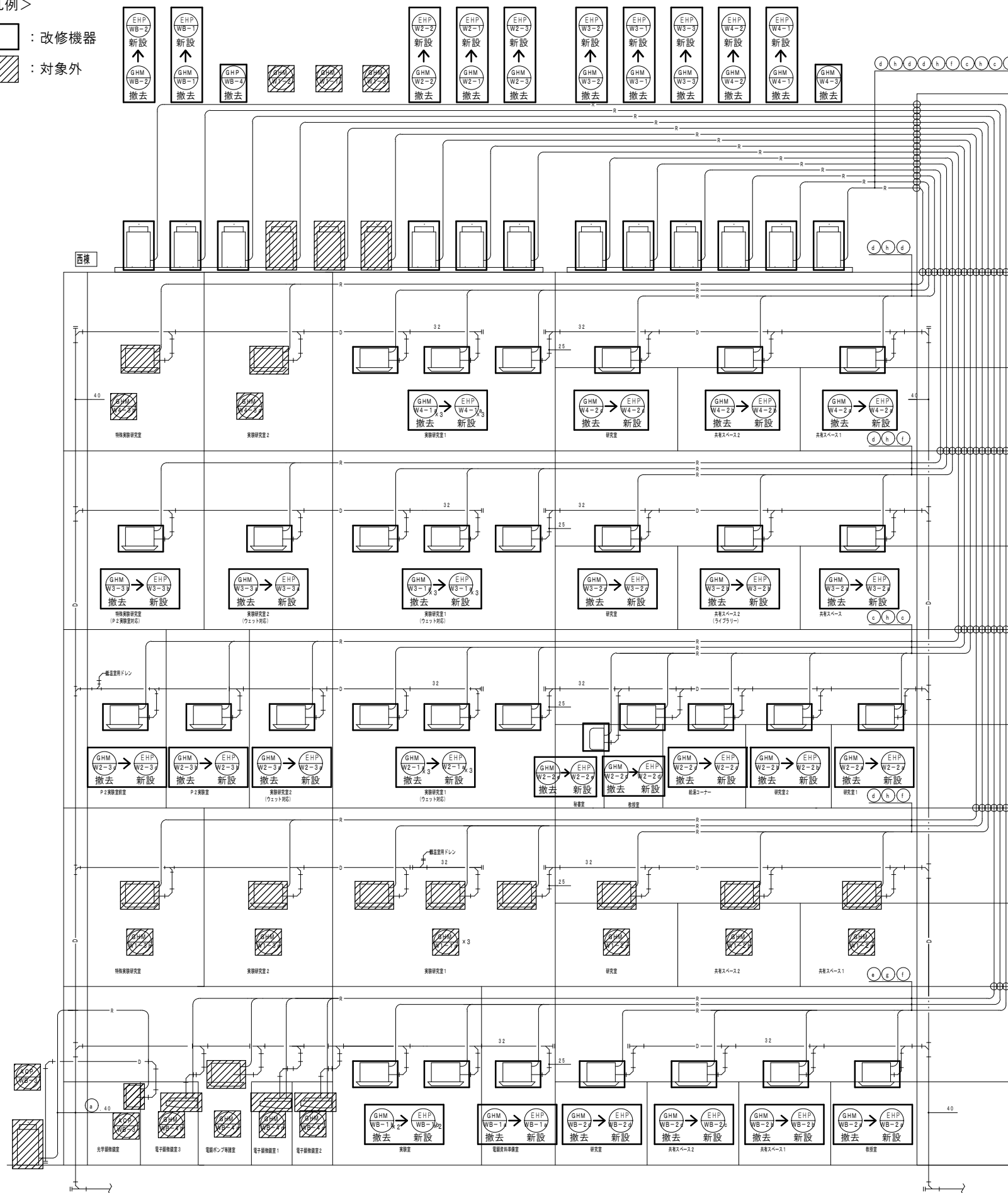


共通事項

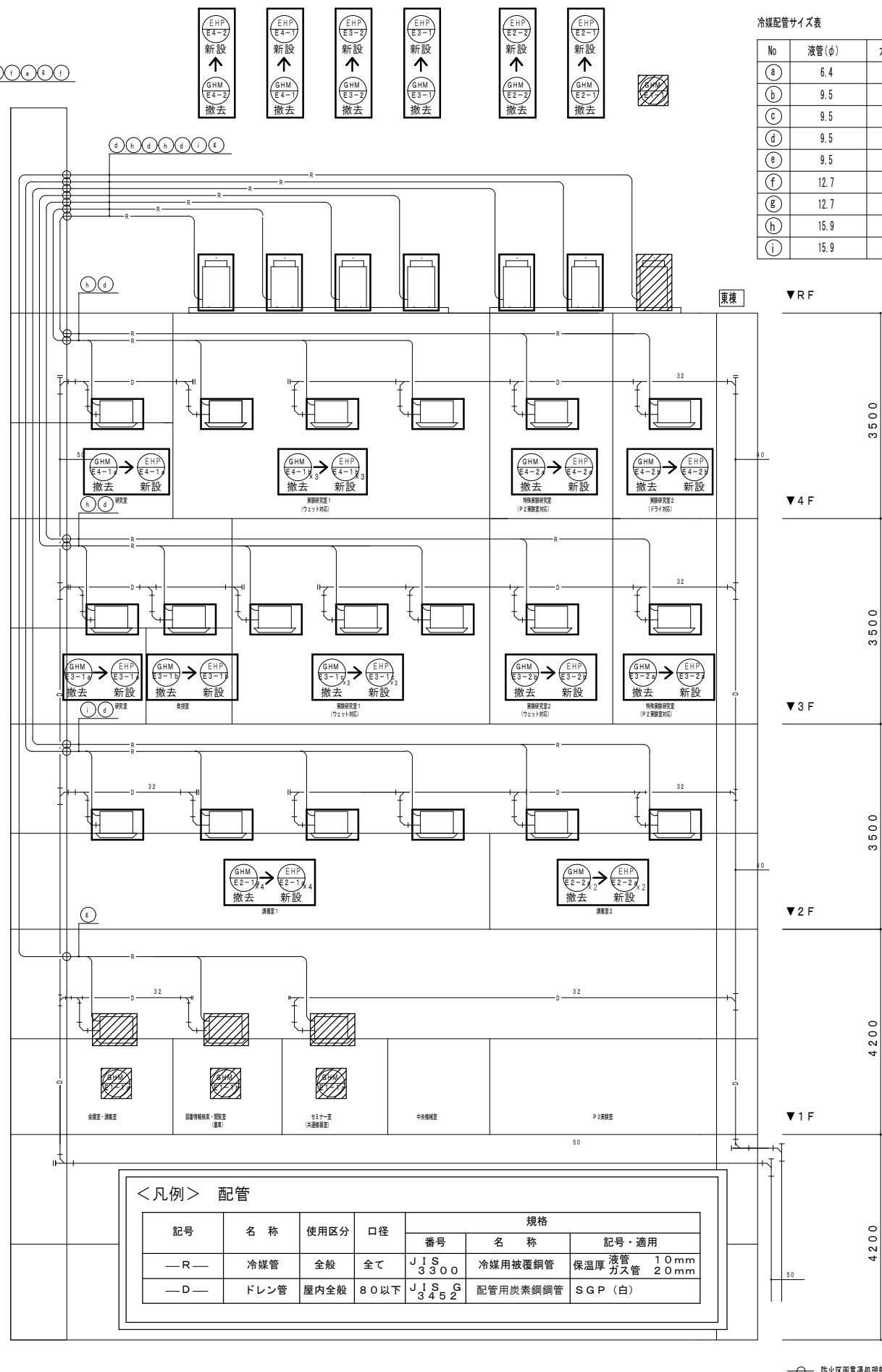
工事名称	東京大学（白金台）2号館空調設備改修工事
図面名称	特記仕様書（2）・配置図

東京大学	縮尺	年度	図面番号
	A1 N.S A3 N.S	R 8	特-02

 : 改修機器
 : 対象外



No	液管(φ)	ガス管(φ)
(a)	6.4	12.7
(b)	9.5	15.9
(c)	9.5	19.1
(d)	9.5	22.2
(e)	9.5	25.4
(f)	12.7	25.4
(g)	12.7	28.6
(h)	15.9	28.6
(i)	15.9	31.8



—○— 防火区画貫通処理部を示す。

	工事名称	決裁欄		
	東京大学（白金台）２号館空調設備改修工事	東京大学		
	図面名称	縮 尺	年度	図面番号
	空気調和設備 配管系統図 [改修]	-	R 8	M-02

機器表 [改修]

記 号	名 称 ・ 形 式	機 器 仕 様		電 源 φ-V	機 器 入 力 Kw		台数	設 置 場 所	備 考	
		冷暖能力Kw	暖房能力Kw		室内機 (圧縮機+ファン)	室内機				
EHP-WB-1	ビル用マルチエアコン室外機（冷暖切替タイプ）	45.0	50.0	防振架台付（耐震固定含む）	3-200	13.7+1.32	1	屋上	RQYP450FCR	
EHP-WB-1a	室内機 天井セット4方向吹出し	5.6	6.3	リモコンスイッチ1個	1-200		0.053	1	西棟地下1階電気資料準備室	FXYFP56NB
EHP-WB-1b	室内機 天井セット4方向吹出し	14.0	16.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.106	2	西棟地下1階実験室（P2）	FXYFP140NB
EHP-WB-2	ビル用マルチエアコン室外機（冷暖切替タイプ）	33.5	37.5	防振架台付（耐震固定含む）	3-200	10.9+1.03	1	屋上	RQYP335FCR	
EHP-WB-2a	室内機 天井セット4方向吹出し	5.6	6.3	リモコンスイッチ1個	1-200		0.053	1	西棟地下1階研修室	FXYFP56NB
EHP-WB-2b	室内機 天井セット4方向吹出し	9.0	10.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.053	1	西棟地下1階共有スペース1	FXYFP90NB
EHP-WB-2c	室内機 天井セット4方向吹出し	7.1	8.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.053	1	西棟地下1階共有スペース2	FXYFP71NB
EHP-WB-2d	室内機 天井セット4方向吹出し	3.6	4.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.053	1	西棟地下1階研究室	FXYFP36NB
EHP-W2-1	ビル用マルチエアコン室外機（冷暖切替タイプ）	56.0	63.0	防振架台付（耐震固定含む）	3-200	16.5+1.44	1	屋上	RQYP560FCR	
EHP-W2-1a	室内機 天井セット4方向吹出し	14.0	16.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.106	3	西棟2階実験研究室1・機室	FXYFP140NB
EHP-W2-2	ビル用マルチエアコン室外機（冷暖切替タイプ）	22.4	25.0	防振架台付（耐震固定含む）	3-200	5.94+0.46	1	屋上	RQYP224FCR	
EHP-W2-2a	室内機 天井セット4方向吹出し	7.1	8.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.053	1	西棟2階研究室1	FXYFP71NB
EHP-W2-2b	室内機 天井セット4方向吹出し	7.1	8.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.053	1	西棟2階研究室2	FXYFP71NB
EHP-W2-2c	室内機 天井セット4方向吹出し	2.8	3.2	リモコンスイッチ1個	1-200		0.053	1	西棟2階結露室コーナー	FXYFP28NB
EHP-W2-2d	室内機 天井セット2方向吹出し	2.8	3.2	リモコンスイッチ1個	1-200		0.046	1	西棟2階研修室	FXYCP28EB
EHP-W2-2e	室内機 壁掛形	2.8	3.2	リモコンスイッチ1個、ドレナアップ キット	1-200		0.030	1	西棟2階給湯室	FXYAP28EB
EHP-W2-3	ビル用マルチエアコン室外機（冷暖切替タイプ）	22.4	25.0	防振架台付（耐震固定含む）	3-200	5.94+0.46	1	屋上	RQYP224FCR	
EHP-W2-3a	室内機 天井セット4方向吹出し	11.2	12.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.106	1	西棟2階実験研究室2	FXYFP112NB
EHP-W2-3b	室内機 天井セット4方向吹出し	4.5	5.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.053	1	西棟2階P2実験室	FXYFP45NB
EHP-W2-3c	室内機 天井セット4方向吹出し	2.8	3.2	リモコンスイッチ1個	1-200		0.053	1	西棟2階P2実験前室	FXYFP28NB
EHP-E2-1	ビル用マルチエアコン室外機（冷暖切替タイプ）	73.0	82.5	防振架台付（耐震固定含む）	3-200	22.05+1.93	1	屋上	RQYP730FCR	
EHP-E2-1a	室内機 天井セット4方向吹出し	16.0	18.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.106	4	東棟2階講義室1	FXYFP160NB
EHP-E2-2	ビル用マルチエアコン室外機（冷暖切替タイプ）	28.0	31.5	防振架台付（耐震固定含む）	3-200	7.92+0.61	1	屋上	RQYP280FCR	
EHP-E2-2a	室内機 天井セット4方向吹出し	14.0	16.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.106	2	東棟2階講義室2	FXYFP140NB
EHP-W3-1	ビル用マルチエアコン室外機（冷暖切替タイプ）	56.0	63.0	防振架台付（耐震固定含む）	3-200	16.5+1.44	1	屋上	RQYP560FCR	
EHP-W3-1a	室内機 天井セット4方向吹出し	14.0	16.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.106	3	西棟3階実験研究室1	FXYFP140NB
EHP-W3-2	ビル用マルチエアコン室外機（冷暖切替タイプ）	33.5	37.5	防振架台付（耐震固定含む）	3-200	10.9+1.03	1	屋上	RQYP335FCR	
EHP-W3-2a	室内機 天井セット4方向吹出し	7.1	8.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.053	1	西棟3階共有スペース1	FXYFP71NB
EHP-W3-2b	室内機 天井セット4方向吹出し	7.1	8.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.053	1	西棟3階共有スペース2	FXYFP71NB
EHP-W3-2c	室内機 天井セット4方向吹出し	11.2	12.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.106	1	西棟3階研究室	FXYFP112NB
EHP-W3-3	ビル用マルチエアコン室外機（冷暖切替タイプ）	28.0	31.5	防振架台付（耐震固定含む）	3-200	7.92+0.61	1	屋上	RQYP280FCR	
EHP-W3-3a	室内機 天井セット4方向吹出し	11.2	12.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.106	1	西棟3階実験研究室2	FXYFP112NB
EHP-W3-3b	室内機 天井セット4方向吹出し	11.2	12.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.106	1	西棟3階特殊実験研究室	FXYFP112NB
EHP-E3-1	ビル用マルチエアコン室外機（冷暖切替タイプ）	56.0	63.0	防振架台付（耐震固定含む）	3-200	16.5+1.44	1	屋上	RQYP560FCR	
EHP-E3-1a	室内機 天井セット4方向吹出し	2.8	3.2	リモコンスイッチ1個	1-200		0.053	1	東棟3階研究室	FXYFP28NB
EHP-E3-1b	室内機 天井セット4方向吹出し	3.6	4.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.053	1	東棟3階研修室	FXYFP36NB
EHP-E3-1c	室内機 天井セット4方向吹出し	14.0	16.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.106	3	東棟3階実験研究室1	FXYFP140NB
EHP-E3-2	ビル用マルチエアコン室外機（冷暖切替タイプ）	28.0	31.5	防振架台付（耐震固定含む）	3-200	7.92+0.61	1	屋上	RQYP280FCR	
EHP-E3-2a	室内機 天井セット4方向吹出し	9.0	10.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.053	1	東棟3階特殊実験研究室	FXYFP90NB
EHP-E3-2b	室内機 天井セット4方向吹出し	11.2	12.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.106	1	東棟3階実験研究室2	FXYFP112NB
EHP-W4-1	ビル用マルチエアコン室外機（冷暖切替タイプ）	56.0	63.0	防振架台付（耐震固定含む）	3-200	16.5+1.44	1	屋上	RQYP560FCR	
EHP-W4-1a	室内機 天井セット4方向吹出し	16.0	18.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.106	3	西棟4階実験研究室1	FXYFP160NB
EHP-W4-2	ビル用マルチエアコン室外機（冷暖切替タイプ）	28.0	31.5	防振架台付（耐震固定含む）	3-200	7.92+0.61	1	屋上	RQYP280FCR	
EHP-W4-2a	室内機 天井セット4方向吹出し	7.1	8.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.053	1	西棟4階共有スペース1	FXYFP71NB
EHP-W4-2b	室内機 天井セット4方向吹出し	9.0	10.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.053	1	西棟4階共有スペース2	FXYFP90NB
EHP-W4-2c	室内機 天井セット4方向吹出し	11.2	12.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.106	1	西棟4階研究室	FXYFP112NB
特記事項										
(1) 上記参考機種の製品と同等程度の性能を有している機種を対象とする。										
(2) 室内機は、ドレナアップメカを備えたものとし、防振吊金具を付属すること。										
(3) 電気容量は参考値とする。										

[illegible]

	工事名称	決裁欄		
	東京大学（白金台）2号館空調設備改修工事	東京大学		
	図面名称	縮 尺	年度	図面番号
	空気調和設備 機器表 [改修]	—	R 8	M—03

機器表 [撤去]

記 号	名 称 ・ 形 式	機 器 仕 様		電 源 4-V	機器入力 Kw		ガス消費量 Kw (13A)		台数	設置場所	機器登録 (ダイキン工業株)	
		冷房能力Kw	暖房能力Kw		室外機	室内機	冷凍	暖房				
GHM-WB-1	ガスヒートポンプマルチパッケージ型外機	45.0	50.0	冷暖兼用 設計用水平置度2.0	3-200	0.75		32.4	33.4	1	屋上	GHAP450MN
GHM-WB-1a	室内機 天井カセット4方向吹出し	5.6	6.3	リモコンスイッチ1個	1-200		0.052			1	西棟地下1階電気材料庫室	FGXFP56MB
GHM-WB-1b	室内機 天井カセット4方向吹出し	14.0	16.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.151			2	西棟地下1階実験室 (P2)	FGXFP140MB
												内1台は吹出口合フランジ付
GHM-WB-2	ガスヒートポンプマルチパッケージ型外機	35.5	40.0	冷暖兼用 設計用水平置度2.0	3-200	0.50		25.6	26.0	1	屋上	GYAP355MN
GHM-WB-2a	室内機 天井カセット4方向吹出し	5.6	6.3	リモコンスイッチ1個	1-200		0.052			1	西棟地下1階実験室	FGXFP56MB
GHM-WB-2b	室内機 天井カセット4方向吹出し	9.0	10.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.093			1	西棟地下1階共有スペース1	FGXFP90MB
GHM-WB-2c	室内機 天井カセット4方向吹出し	7.1	8.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.066			1	西棟地下1階共有スペース2	FGXFP71MB
GHM-WB-2d	室内機 天井カセット4方向吹出し	3.6	4.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.033			1	西棟地下1階研究室	FGXFP36MB
GHP-WB-3	空気源型ヒートポンプパッケージ型外機	7.1	8.5	冷暖兼用 設計用水平置度2.0	3-200	1.77				1	西棟1階リコー室	RDYAP80MB1
	室内機 壁掛形	7.1	8.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.043			1	西棟地下1階実験研究室	FXAP80B
GHP-WB-4	空気源型ガスヒートポンプパッケージ	22.4	25.0	冷暖兼用 設計用水平置度2.0	3-200	0.75		16.0	16.3	1	屋上	GHAP450MN
GHP-WB-4a	室内機 天井カセット4方向吹出し	5.6	6.3	リモコンスイッチ1個	1-200		0.056			1	西棟地下1階実験室1・2階	FGXFP56MB
GHP-WB-4b	室内機 天井カセット4方向吹出し	4.5	5.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.056			1	西棟地下1階電子設備研究室1	FGXFP45MB
GHP-WB-4c	室内機 天井カセット4方向吹出し	3.6	4.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.036			1	西棟地下1階電子設備研究室2	FGXFP36MB
GHP-WB-4d	室内機 天井カセット4方向吹出し	3.6	4.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.036			1	西棟地下1階電子設備研究室1	FGXFP36MB

記 号	名 称 ・ 形 式	機 器 仕 様		電 源 V	機器入力 Kw		ガス消費量 Kw (13A)		台数	設置場所	機器空番 (タリキ工集機)	
		消費能力Kw	電圧能力Kw		至内機	至内機	冷期	暖期				
GHM-W3-1	ガスヒートポンプマルチパッケージ型外機	56.0	63.0	防振架台 設計水冷水平置度2.0	3-200	0.75		42.0	42.1	1	屋上	GHAP560MN
GHM-W3-1a	室内機 天井カセット4方向吹出し	14.0	16.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.12			3	西棟3階実験研究室1	FGXFP140MB
GHM-W3-2	ガスヒートポンプマルチパッケージ型外機	35.5	40.0	防振架台 設計水冷水平置度2.0	3-200	0.75		25.6	26.0	1	屋上	GYAP355MN
GHM-W3-2a	室内機 天井カセット4方向吹出し	7.1	8.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.056			1	西棟3階共有スペース1	FGXFP71MB
GHM-W3-2b	室内機 天井カセット4方向吹出し	7.1	8.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.056			1	西棟3階共有スペース2	FGXFP71MB
GHM-W3-2c	室内機 天井カセット4方向吹出し	11.2	12.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.12			1	西棟3階研究室	FGXFP112MB
GHM-W3-3	ガスヒートポンプマルチパッケージ型外機	28.0	31.5	防振架台 設計水冷水平置度2.0	3-200	0.50		19.7	21.3	1	屋上	GYAP280MN
GHM-W3-3a	室内機 天井カセット4方向吹出し	11.2	12.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.12			1	西棟3階実験研究室2	FGXFP112MB
GHM-W3-3b	室内機 天井カセット4方向吹出し	11.2	12.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.12			1	西棟3階特殊実験研究室	FGXFP112MB
GHM-E3-1	ガスヒートポンプマルチパッケージ型外機	56.0	63.0	防振架台 設計水冷水平置度2.0	3-200	0.75		42.0	42.1	1	屋上	GHAP560MN
GHM-E3-1a	室内機 天井カセット4方向吹出し	2.8	3.2	リモコンスイッチ1個	1-200		0.056			1	東棟3階研究室	FGXFP28MB
GHM-E3-1b	室内機 天井カセット4方向吹出し	3.6	4.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.056			1	東棟3階研究室	FGXFP36MB
GHM-E3-1c	室内機 天井カセット4方向吹出し	14.0	16.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.12			3	東棟3階実験研究室1	FGXFP140MB
GHM-E3-2	ガスヒートポンプマルチパッケージ型外機	28.0	31.5	防振架台 設計水冷水平置度2.0	3-200	0.50		19.7	21.3	1	屋上	GYAP280MN
GHM-E3-2a	室内機 天井カセット4方向吹出し	9.0	10.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.056			1	東棟3階特殊実験研究室	FGXFP90MB
GHM-E3-2b	室内機 天井カセット4方向吹出し	11.2	12.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.12			1	東棟3階実験研究室2	FGXFP112MB
GHM-W4-1	ガスヒートポンプマルチパッケージ型外機	56.0	63.0	防振架台 設計水冷水平置度2.0	3-200	0.75		42.0	42.1	1	屋上	GHAP560MN
GHM-W4-1a	室内機 天井カセット4方向吹出し	16.0	18.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.12			3	西棟4階実験研究室1	FGXFP160MB
GHM-W4-2	ガスヒートポンプマルチパッケージ型外機	28.0	31.5	防振架台 設計水冷水平置度2.0	3-200	0.50		19.7	21.3	1	屋上	GYAP280MN
GHM-W4-2a	室内機 天井カセット4方向吹出し	7.1	8.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.056			1	西棟4階共有スペース1	FGXFP71MB
GHM-W4-2b	室内機 天井カセット4方向吹出し	9.0	10.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.056			1	西棟4階共有スペース2	FGXFP90MB
GHM-W4-2c	室内機 天井カセット4方向吹出し	11.2	12.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.12			1	西棟4階研究室	FGXFP112MB
GHM-W4-3	ガスヒートポンプマルチパッケージ型外機	28.0	31.5	防振架台 設計水冷水平置度2.0	3-200	0.50		19.7	21.3	1	屋上	GYAP280MN
GHM-W4-3a	室内機 天井カセット4方向吹出し	11.2	12.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.12			1	西棟4階実験研究室2	FGXFP112MB
GHM-W4-3b	室内機 天井カセット4方向吹出し	11.2	12.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.12			1	西棟4階特殊実験研究室	FGXFP112MB
GHM-E4-1	ガスヒートポンプマルチパッケージ型外機	67.0	71.0	防振架台 設計水冷水平置度2.0	3-200	0.855		61.2	54.7	1	屋上	GHAP710MN
GHM-E4-1a	室内機 天井カセット4方向吹出し	11.2	12.5	リモコンスイッチ1個	1-200		0.12			1	東棟4階研究室	FGXFP112MB
GHM-E4-1b	室内機 天井カセット4方向吹出し	14.0	16.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.12			3	東棟4階実験研究室1	FGXFP140MB
GHM-E4-2	ガスヒートポンプマルチパッケージ型外機	28.0	31.5	防振架台 設計水冷水平置度2.0	3-200	0.50		19.7	21.3	1	屋上	GYAP280MN
GHM-E4-2a	室内機 天井カセット4方向吹出し	9.0	10.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.056			1	東棟4階特殊実験研究室	FGXFP90MB
GHM-E4-2b	室内機 天井カセット4方向吹出し	14.0	16.0	リモコンスイッチ1個	1-200		0.12			1	東棟4階実験研究室2	FGXFP140MB
	集中コントローラー									2式	3号機保守管理室	DCS601C1
												DCS002C1
												DCS601A2
特記事項												

 : 撤去対象外

	工事名称	決裁欄		
	東京大学（白金台）２号館空調設備改修工事	東京大学		
	図面名称	縮 尺	年度	図面番号
	空気調和設備 機器表 [撤去]	-	R 8	M-04

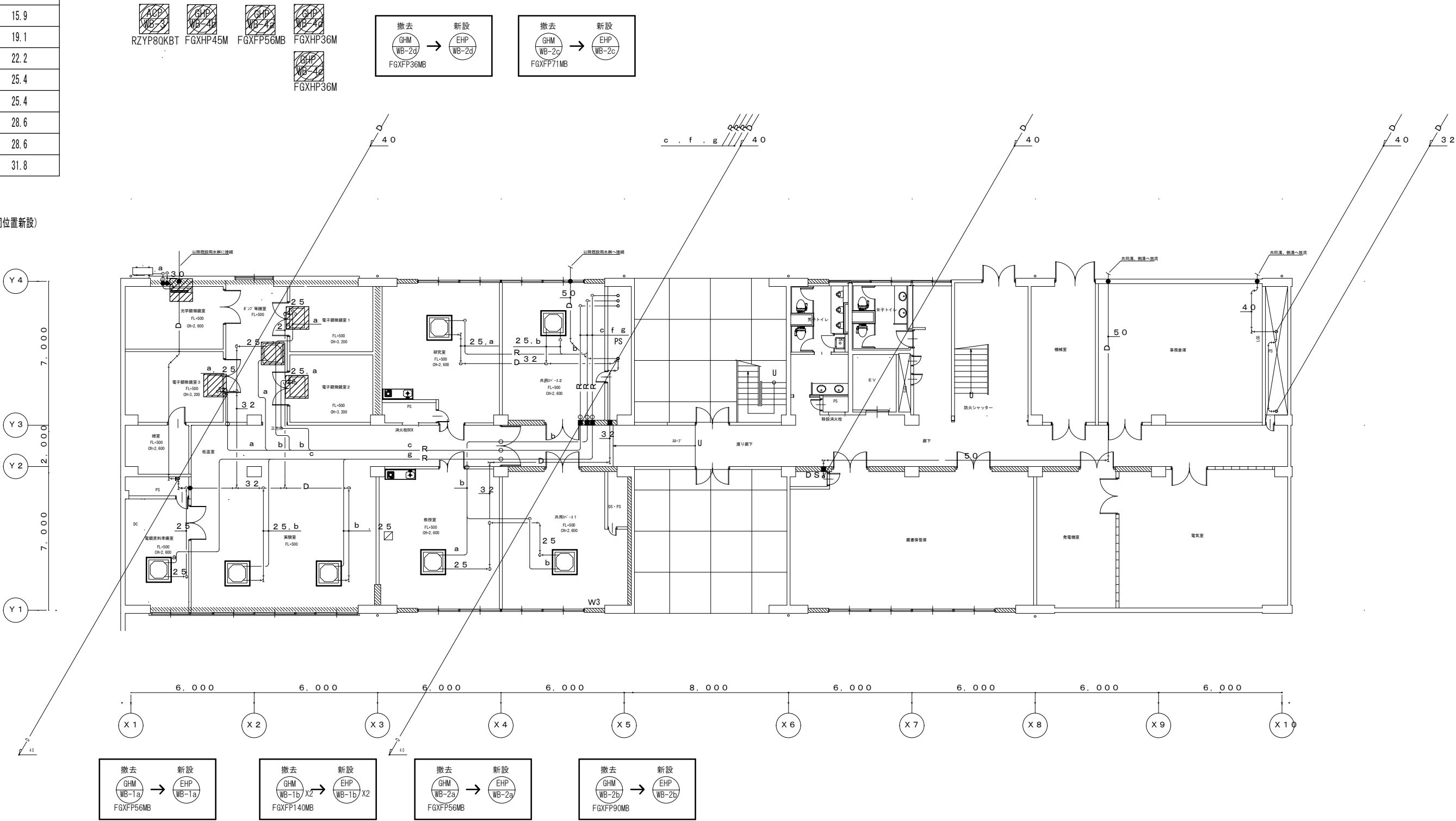
冷媒配管サイズ表（既設・再利用）

No	液管(φ)	ガス管(φ)
a	6.4	12.7
b	9.5	15.9
c	9.5	19.1
d	9.5	22.2
e	9.5	25.4
f	12.7	25.4
g	12.7	28.6
h	15.9	28.6
i	15.9	31.8

※ドレン管（既設再利用・再接続）

※リモコンスイッチ（既設撤去・同位置新設）

※点検口（既設利用）



地下 1 階配管平面図

<凡例>

-  : 改修機器
-  : 対象外

	工事名称	決裁欄		
	東京大学（白金台）2号館空調設備改修工事	東京大学		
	図面名称	縮尺	年度	図面番号
	空調設備 地下1階配管平面図 [撤去・改修]	1/200	R 8	M-05

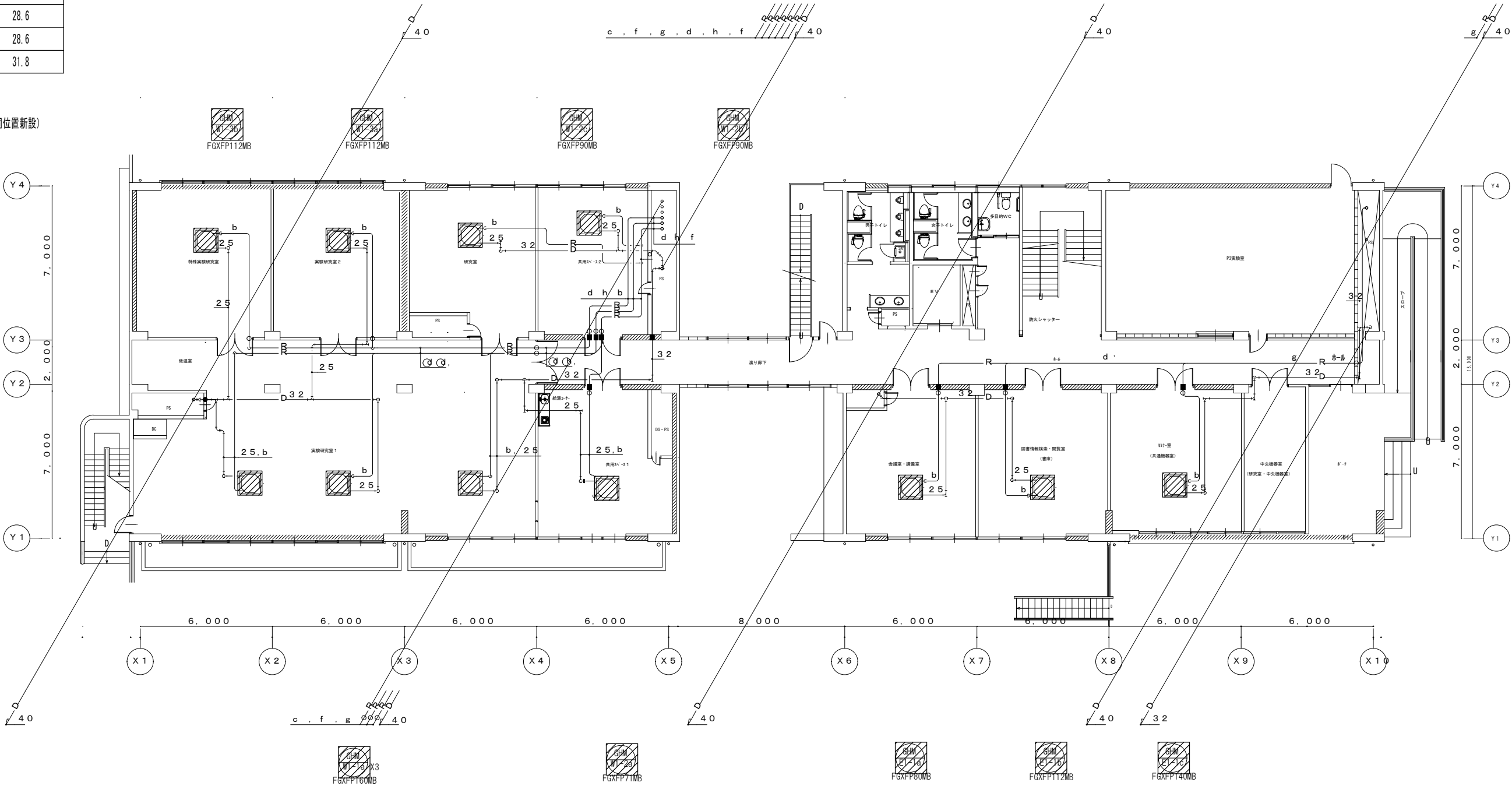
冷媒配管サイズ表（既設・再利用）

No	液管(φ)	ガス管(φ)
a	6.4	12.7
b	9.5	15.9
c	9.5	19.1
d	9.5	22.2
e	9.5	25.4
f	12.7	25.4
g	12.7	28.6
h	15.9	28.6
i	15.9	31.8

※ドレン管（既設再利用・再接続）

※リモコンスイッチ（既設撤去・同位置新設）

※点検口（既設利用）



1 階配管平面図

<凡例>

-  : 改修機器
-  : 対象外

工事名称		決裁欄	
東京大学（白金台）2号館空調設備改修工事		東京大学	
図面名称		縮尺	年度
空調設備 1 階配管平面図 [撤去・改修]		1/200	R 8
		図面番号	
		M-06	

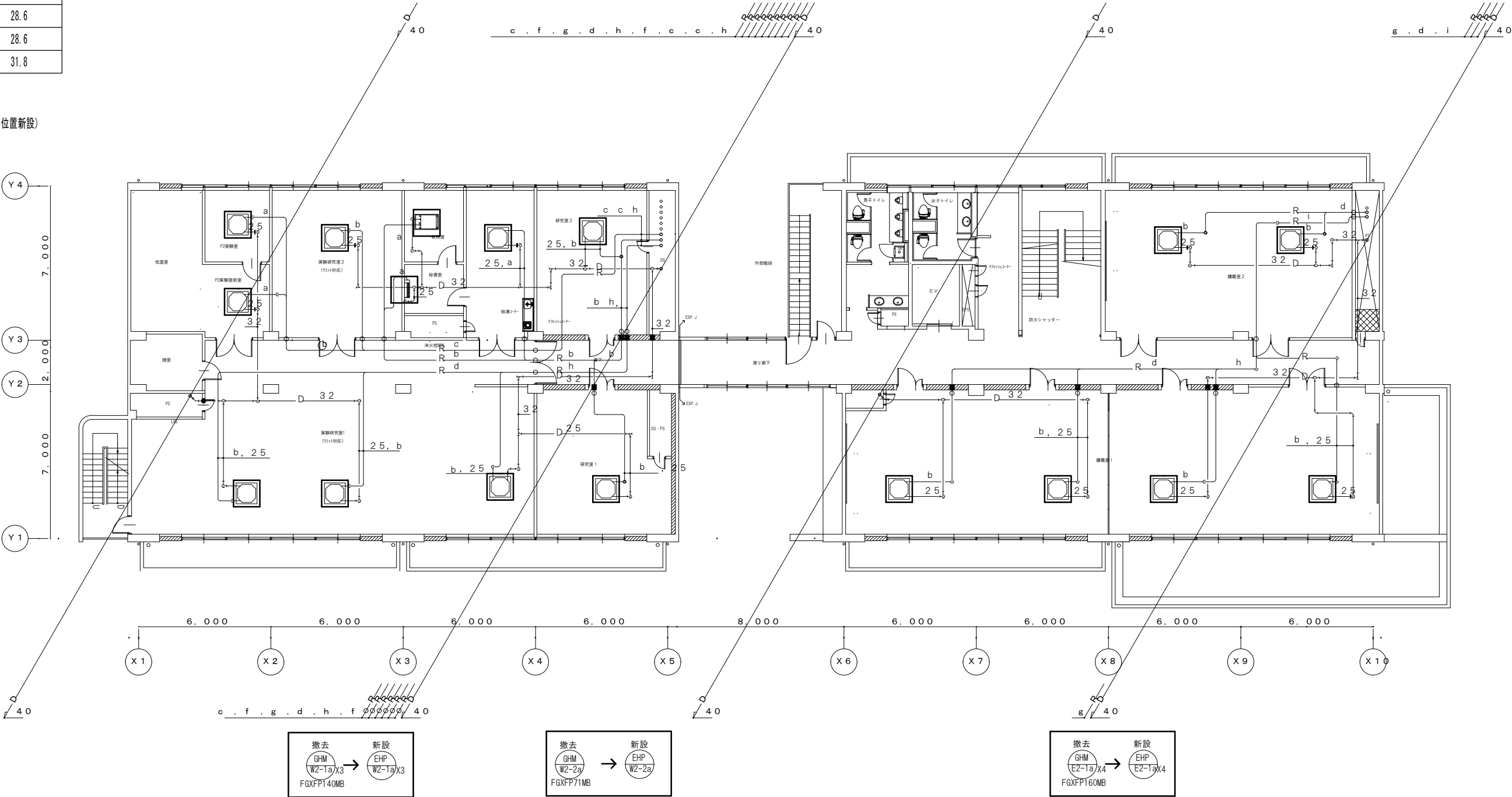
冷媒配管サイズ表（既設・再利用）

No	液管(φ)	ガス管(φ)
a	6.4	12.7
b	9.5	15.9
c	9.5	19.1
d	9.5	22.2
e	9.5	25.4
f	12.7	25.4
g	12.7	28.6
h	15.9	28.6
i	15.9	31.8

※ドレン管（既設再利用・再接続）

※リモコンスイッチ（既設撤去・同位置新設）

※点検口（既設利用）



2 階配管平面図

< 凡例 >

□ : 改修機器

	工事名称	決裁欄		
	東京大学（白金台）2号館空調設備改修工事	東京大学		
	図面名称	縮尺	年度	図面番号
	空調設備 2階配管平面図 [撤去・改修]	1/200	R 8	M-07

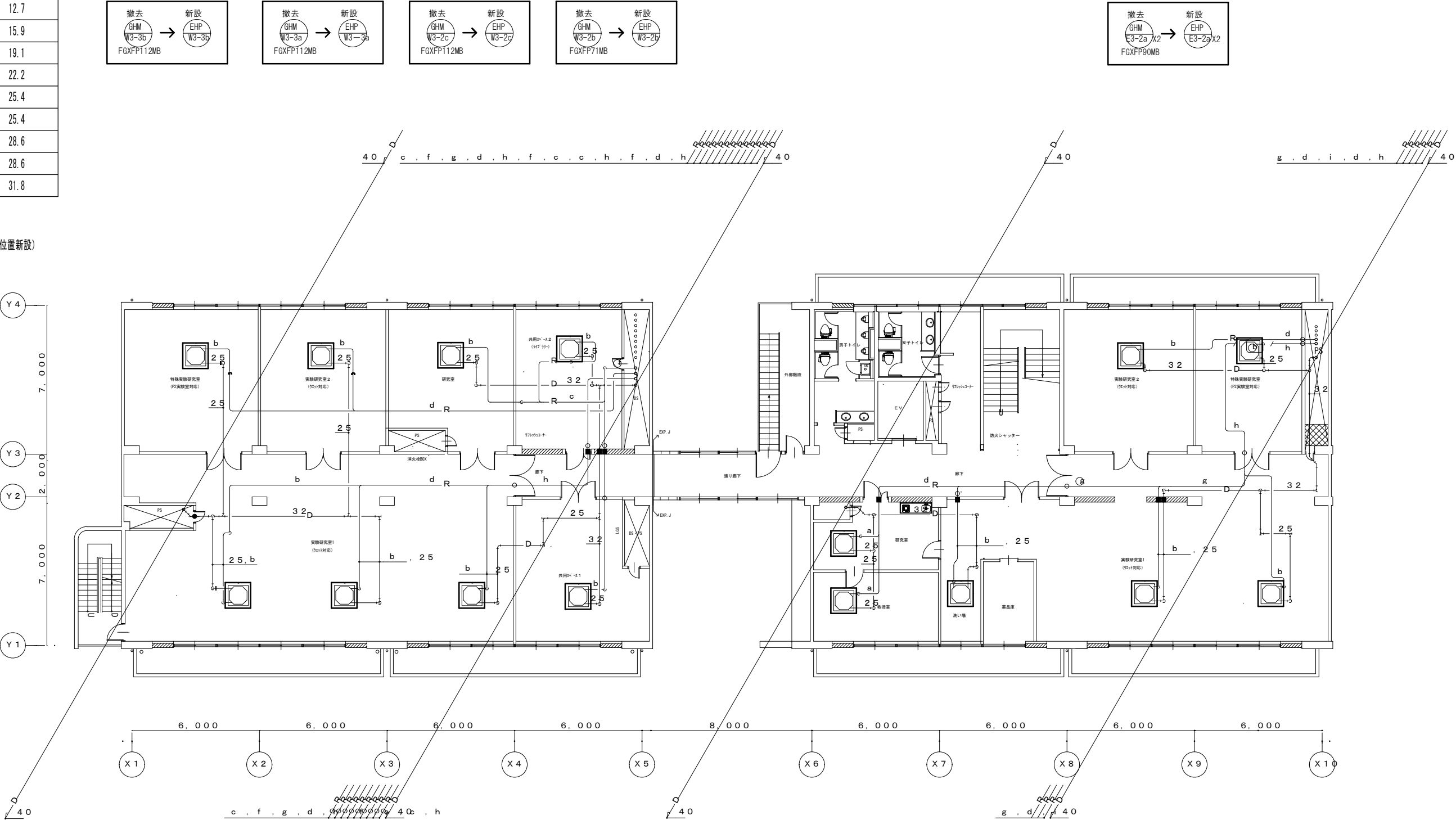
冷媒配管サイズ表（既設・再利用）

No	液管(φ)	ガス管(φ)
a	6.4	12.7
b	9.5	15.9
c	9.5	19.1
d	9.5	22.2
e	9.5	25.4
f	12.7	25.4
g	12.7	28.6
h	15.9	28.6
i	15.9	31.8

※ドレン管（既設再利用・再接続）

※リモコンスイッチ（既設撤去・同位置新設）

※点検口（既設利用）



3階配管平面図

<凡例>

□：改修機器

	工事名称	決裁欄		
	東京大学（白台）2号館空調設備改修工事	東京大学		
	図面名称	縮尺	年度	図面番号
	空調設備 3階配管平面図 [撤去・改修]	1/200	R 8	M-08

冷媒配管サイズ表（既設・再利用）

No	液管(φ)	ガス管(φ)
a	6.4	12.7
b	9.5	15.9
c	9.5	19.1
d	9.5	22.2
e	9.5	25.4
f	12.7	25.4
g	12.7	28.6
h	15.9	28.6
i	15.9	31.8

※ドレン管（既設再利用・再接続）

※リモコンスイッチ（既設撤去・同位置新設）

※点検口（既設利用）

4階配管平面図

No	液管(φ)	ガス管(φ)
a	6.4	12.7
b	9.5	15.9
c	9.5	19.1
d	9.5	22.2
e	9.5	25.4
f	12.7	25.4
g	12.7	28.6
h	15.9	28.6
i	15.9	31.8

撤去 GHM W4-2c → 新設 EHP W4-2c FGXF P112MB

撤去 GHM W4-2b → 新設 EHP W4-2b FGXF P90MB

撤去 GHM E4-2b → 新設 EHP E4-2b FGXF P140MB

撤去 GHM E4-2a → 新設 EHP E4-2a FGXF P90MB

撤去 GHM W4-1a X3 → 新設 EHP W4-1a X3 FGXF P160MB

撤去 GHM W4-2a → 新設 EHP W4-2a FGXF P71MB

撤去 GHM E4-1a → 新設 EHP E4-1a FGXF P112MB

撤去 GHM E4-1b → 新設 EHP E4-1b FGXF P140MB

撤去 GHM E4-1b X2 → 新設 EHP E4-1b X2 FGXF P140MB

<凡例>

□ : 改修機器

▨ : 対象外

	工事名称	決裁欄		
	東京大学（白金台）2号館空調設備改修工事	東京大学		
	図面名称	縮 尺	年度	図面番号
	空調設備 4階配管平面図 [撤去・改修]	1/200	R 8	M-09

冷媒配管サイズ表（既設・再利用）

No	液管(φ)	ガス管(φ)
a	6.4	12.7
b	9.5	15.9
c	9.5	19.1
d	9.5	22.2
e	9.5	25.4
f	12.7	25.4
g	12.7	28.6
h	15.9	28.6
i	15.9	31.8

※ドレン管（既設再利用・再接続）

※リモコンスイッチ（既設撤去・同位置新設）

※点検口（既設利用）

4階配管平面図

<凡例>

- : 改修機器
- : 対象外

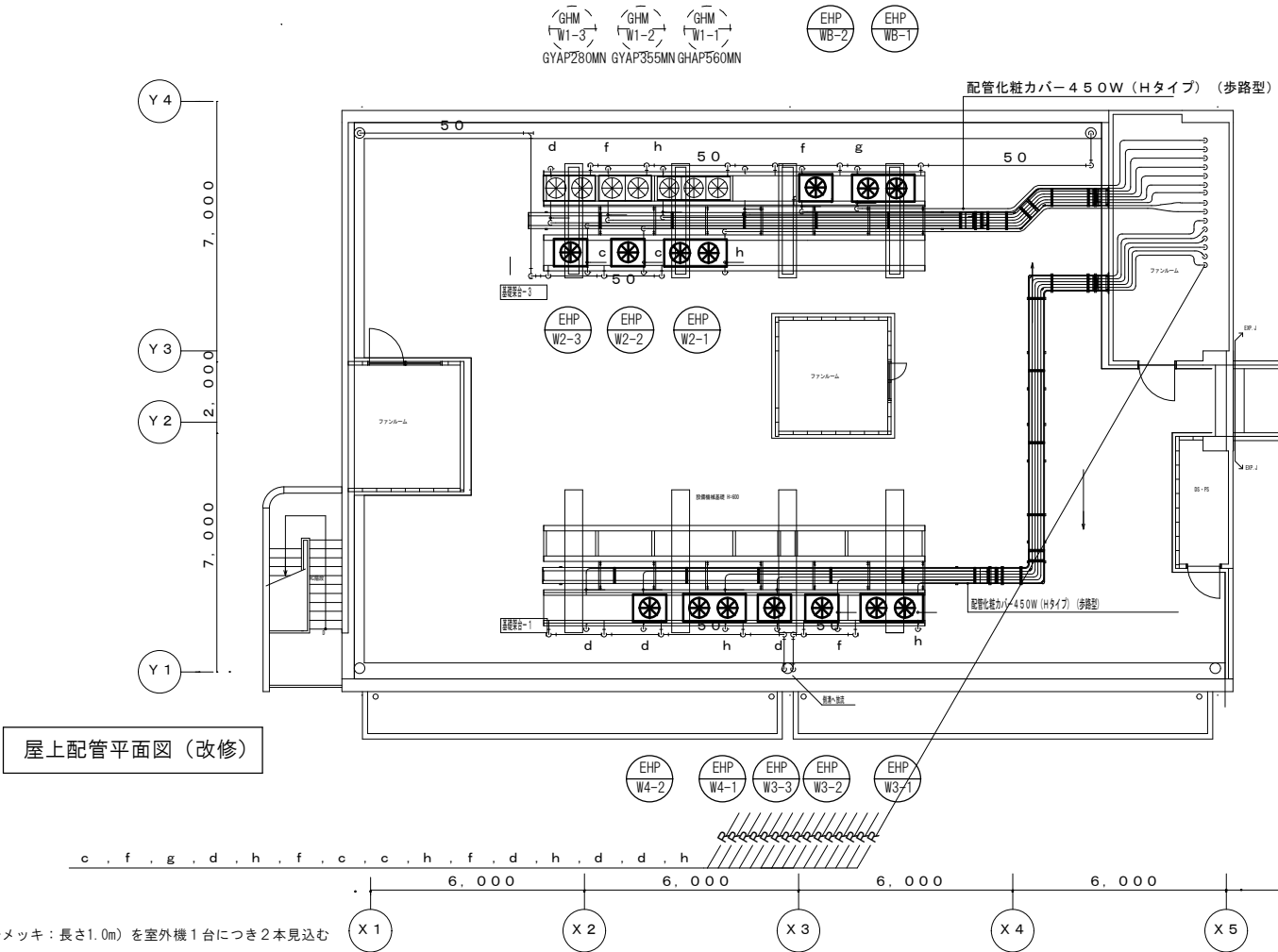
工事名称		決裁欄		
東京大学（白金台）2号館空調設備改修工事		東京大学		
図面名称		縮尺	年度	図面番号
空調設備 4階配管平面図 [撤去・改修]		1/200	R 8	M-09

冷媒配管サイズ表（既設・再利用）

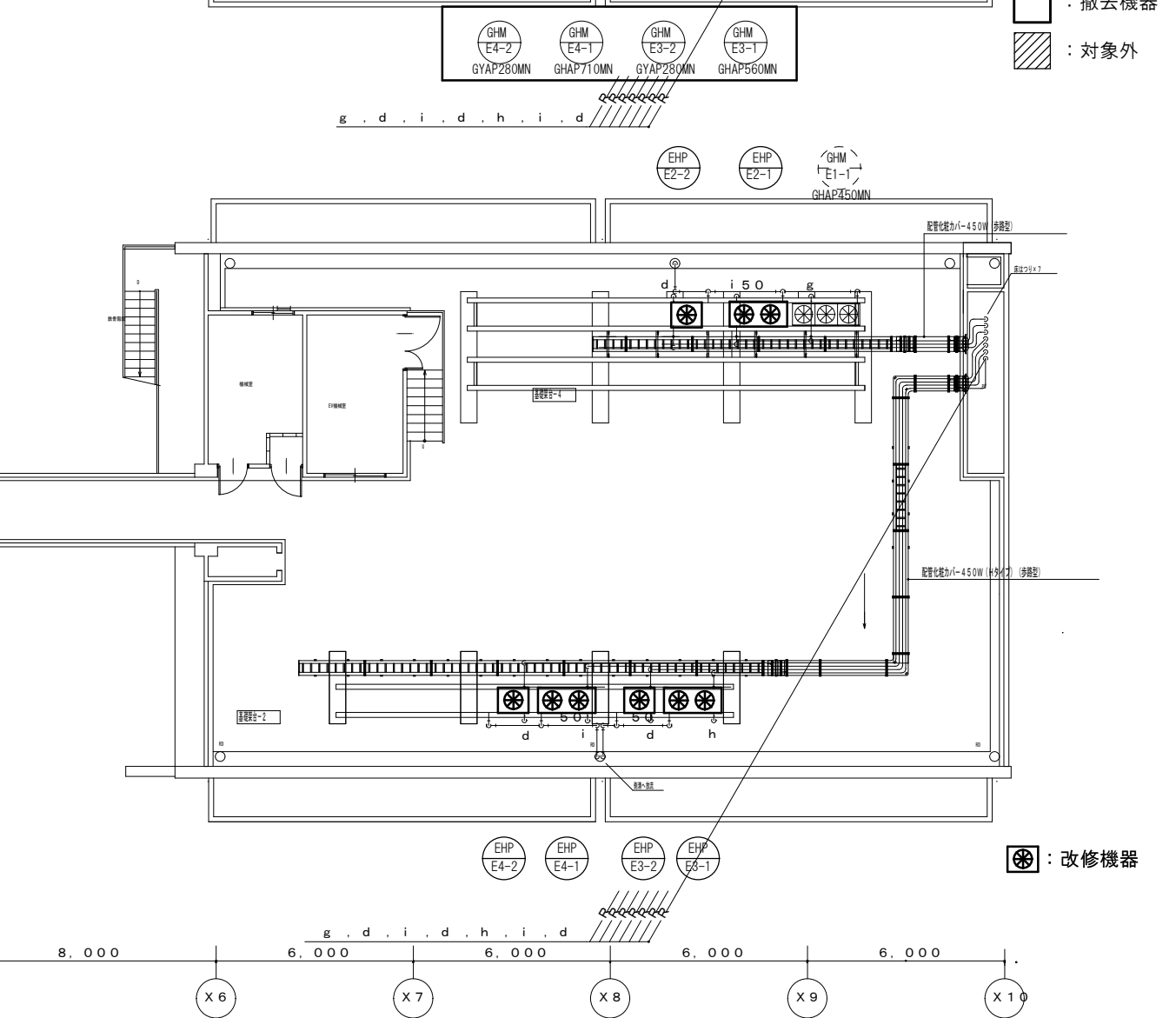
No	液管（φ）	ガス管（φ）
a	6.4	12.7
b	9.5	15.9
c	9.5	19.1
d	9.5	22.2
e	9.5	25.4
f	12.7	25.4
g	12.7	28.6
h	15.9	28.6
i	15.9	31.8

※都市ガス配管（残置・閉栓処理）

屋上配管平面図（撤去）



屋上配管平面図（改修）



注記：[100×50×5×7.5（溶融亜鉛メッキ：長さ1.0m）を室外機1台につき2本見込む

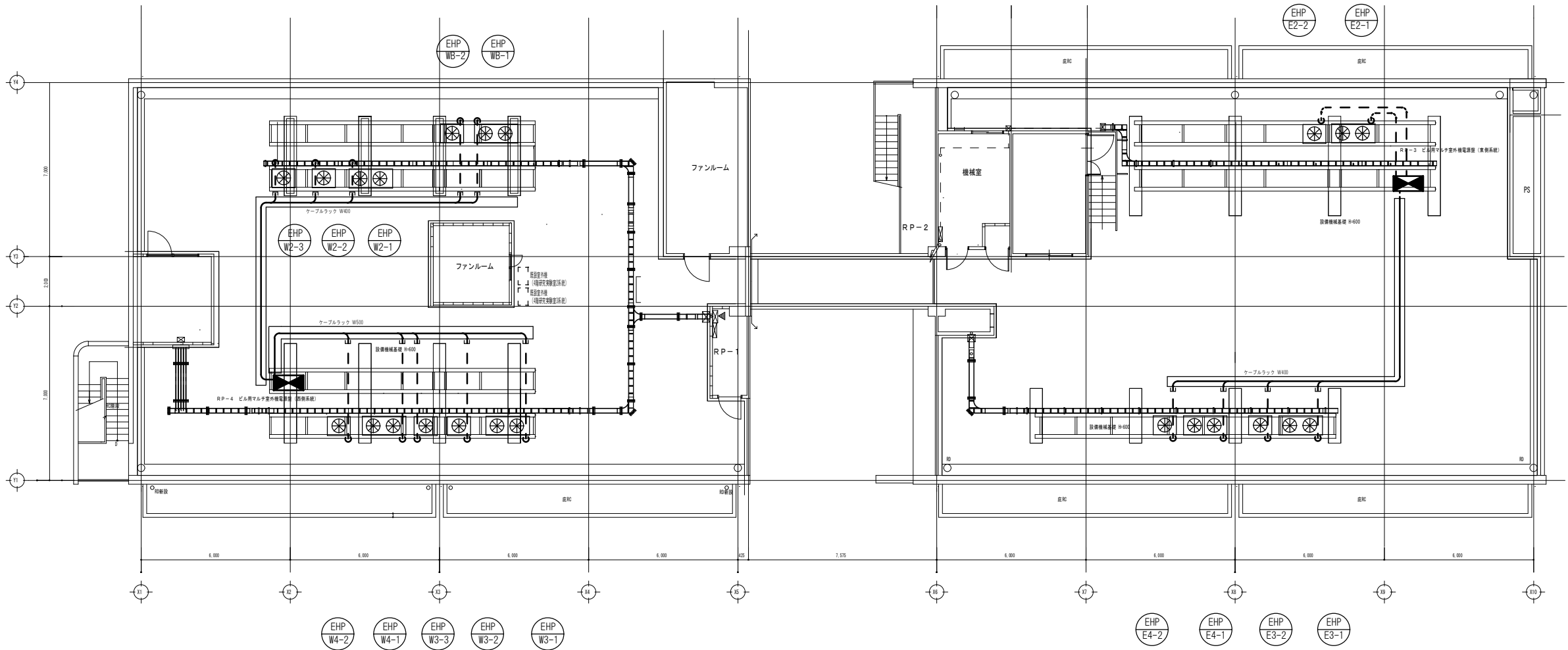
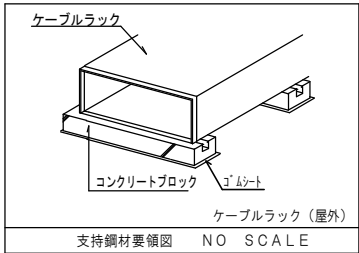
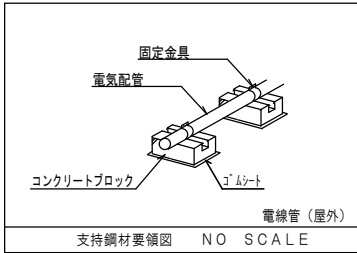
工事名称		決裁欄	
東京大学（白金台）2号館空調設備改修工事		東京大学	
図面名称		縮尺	年度
空調設備 R F階配管平面図 [撤去・改修]		1/200	R 8
		図面番号	
		M-10	

負荷機器表

記 号	機 器 名 称	台数	配 線	保護管	備 考
EHP-WB-1	ビル用マルチエアコン屋外機 (冷暖気替タイプ)	1	EM-CET22" E5.5	(G36) + (F2WP-38)	
EHP-WB-2	ビル用マルチエアコン屋外機 (冷暖気替タイプ)	1	EM-CET14" E3.5	(G36) + (F2WP-38)	
EHP-W2-1	ビル用マルチエアコン屋外機 (冷暖気替タイプ)	1	EM-CET38" E5.5	(G42) + (F2WP-50)	
EHP-W2-2	ビル用マルチエアコン屋外機 (冷暖気替タイプ)	1	EM-CE5.5"-3C E3.5	(G22) + (F2WP-24)	
EHP-W2-3	ビル用マルチエアコン屋外機 (冷暖気替タイプ)	1	EM-CE5.5"-3C E3.5	(G22) + (F2WP-24)	
EHP-E2-1	ビル用マルチエアコン屋外機 (冷暖気替タイプ)	1	EM-CET38" E8.0	(G42) + (F2WP-50)	
EHP-E2-2	ビル用マルチエアコン屋外機 (冷暖気替タイプ)	1	EM-CET8" E3.5	(G28) + (F2WP-30)	
EHP-W3-1	ビル用マルチエアコン屋外機 (冷暖気替タイプ)	1	EM-CET38" E5.5	(G42) + (F2WP-50)	
EHP-W3-2	ビル用マルチエアコン屋外機 (冷暖気替タイプ)	1	EM-CET14" E3.5	(G36) + (F2WP-38)	
EHP-W3-3	ビル用マルチエアコン屋外機 (冷暖気替タイプ)	1	EM-CET8" E3.5	(G28) + (F2WP-30)	
EHP-E3-1	ビル用マルチエアコン屋外機 (冷暖気替タイプ)	1	EM-CET38" E5.5	(G42) + (F2WP-50)	
EHP-E3-2	ビル用マルチエアコン屋外機 (冷暖気替タイプ)	1	EM-CET8" E3.5	(G28) + (F2WP-30)	
EHP-W4-1	ビル用マルチエアコン屋外機 (冷暖気替タイプ)	1	EM-CET38" E5.5	(G42) + (F2WP-50)	
EHP-W4-2	ビル用マルチエアコン屋外機 (冷暖気替タイプ)	1	EM-CET8" E3.5	(G28) + (F2WP-30)	
EHP-E4-1	ビル用マルチエアコン屋外機 (冷暖気替タイプ)	1	EM-CET38" E8.0	(G42) + (F2WP-50)	
EHP-E4-2	ビル用マルチエアコン屋外機 (冷暖気替タイプ)	1	EM-CET8" E3.5	(G22) + (F2WP-24)	

凡 例

記号	名 称	備 考
	動力分電盤	
	室外機	
	ケーブルラック	屋外：Z35 カバー付
	露出配管配線	
	ラック内配線	

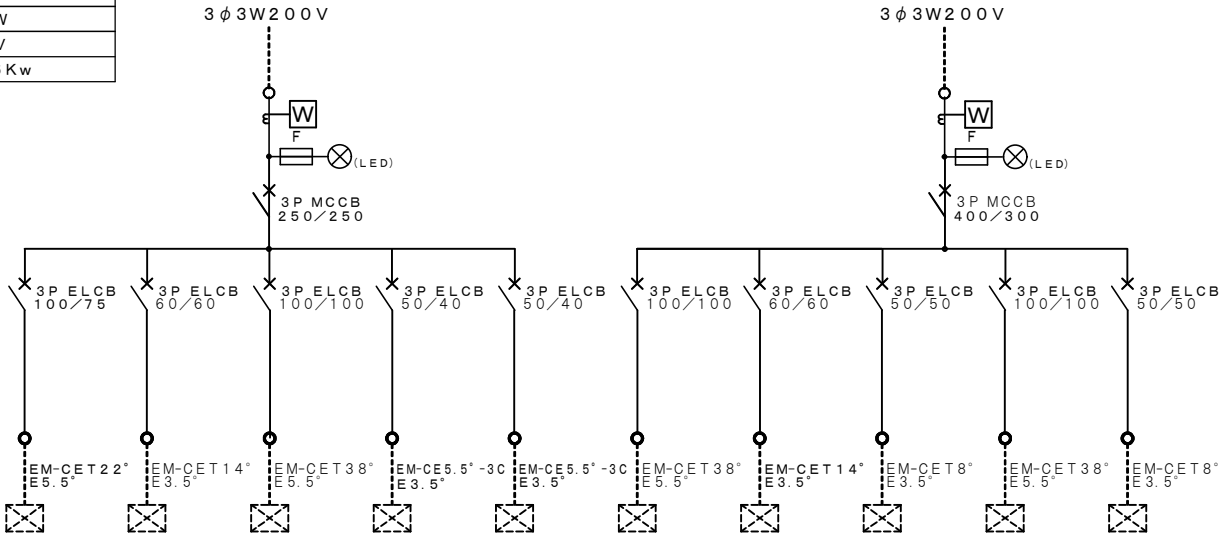


R F 階平面図 (改修)

工事名称		決裁欄	
東京大学（白金台）2号館空調設備改修工事		東京大学	
図面名称		縮 尺	年度
空気調和設備 動力設備 R F 階平面図 [改修]		1/200	R 8
		図面番号	
		M- 1 1	

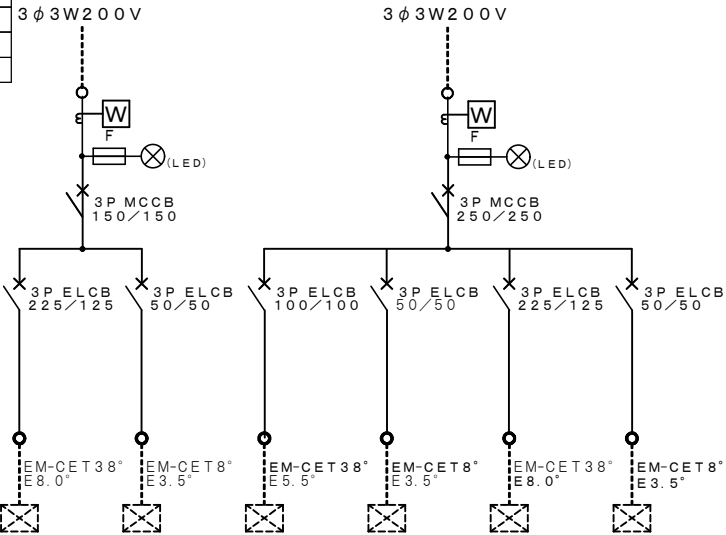
単線結線図

名 称		RP-3
盤 形 式		ビル用マルチ室外機電源盤（東側系統）
設 置 場 所		屋外自立形（SUS製）
方 式	相 数	3φ3W
	電 圧	200V
負 荷 容 量		122.56Kw



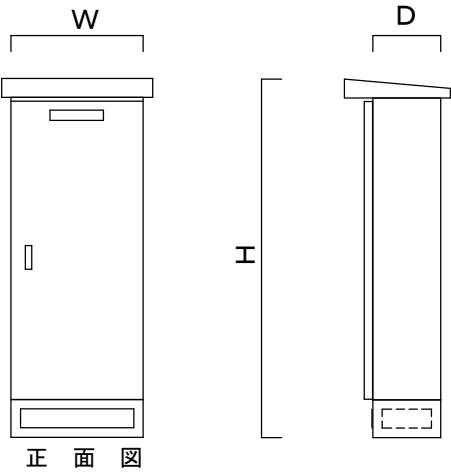
負荷記号	EHP-WB-1	EHP-WB-2	EHP-W2-1	EHP-W2-2	EHP-W2-3	EHP-W3-1	EHP-W3-2	EHP-W3-3	EHP-W4-1	EHP-W4-2
負荷名称	ビル用マルチ 室外機	ビル用マルチ 室外機	ビル用マルチ 室外機	ビル用マルチ 室外機	ビル用マルチ 室外機	ビル用マルチ 室外機	ビル用マルチ 室外機	ビル用マルチ 室外機	ビル用マルチ 室外機	ビル用マルチ 室外機
負荷容量（kW）	15.02	11.93	17.94	6.40	6.40	17.94	11.93	8.53	17.94	8.53
単 位 装 置	始動方式	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	操作・制御 方 式	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	操作・制御 スイッチ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連 動		-	-	-	-	-	-	-	-	-

名 称		RP-4
盤 形 式		ビル用マルチ室外機電源盤（西側系統）
設 置 場 所		屋外自立形（SUS製）
方 式	相 数	3φ3W
	電 圧	200V
負 荷 容 量		92.77kw



負荷記号	EHP-E2-1	EHP-E2-2	EHP-E3-1	EHP-E3-2	EHP-E4-1	EHP-E4-2
負荷名称	ビル用マルチ 室外機	ビル用マルチ 室外機	ビル用マルチ 室外機	ビル用マルチ 室外機	ビル用マルチ 室外機	ビル用マルチ 室外機
負荷容量（kW）	23.98	8.53	17.94	8.53	25.26	8.53
単 位 装 置	始動方式	-	-	-	-	-
	操作・制御 方 式	-	-	-	-	-
	操作・制御 スイッチ	-	-	-	-	-
連 動		-	-	-	-	-

盤姿図（屋外自立型SUS製）



注記）・W・H・Dは各製造所標準とする。
・動力盤設置に必要な支持鋼材一式を含む

工事区分表（電気設備関係）

●室外機関係

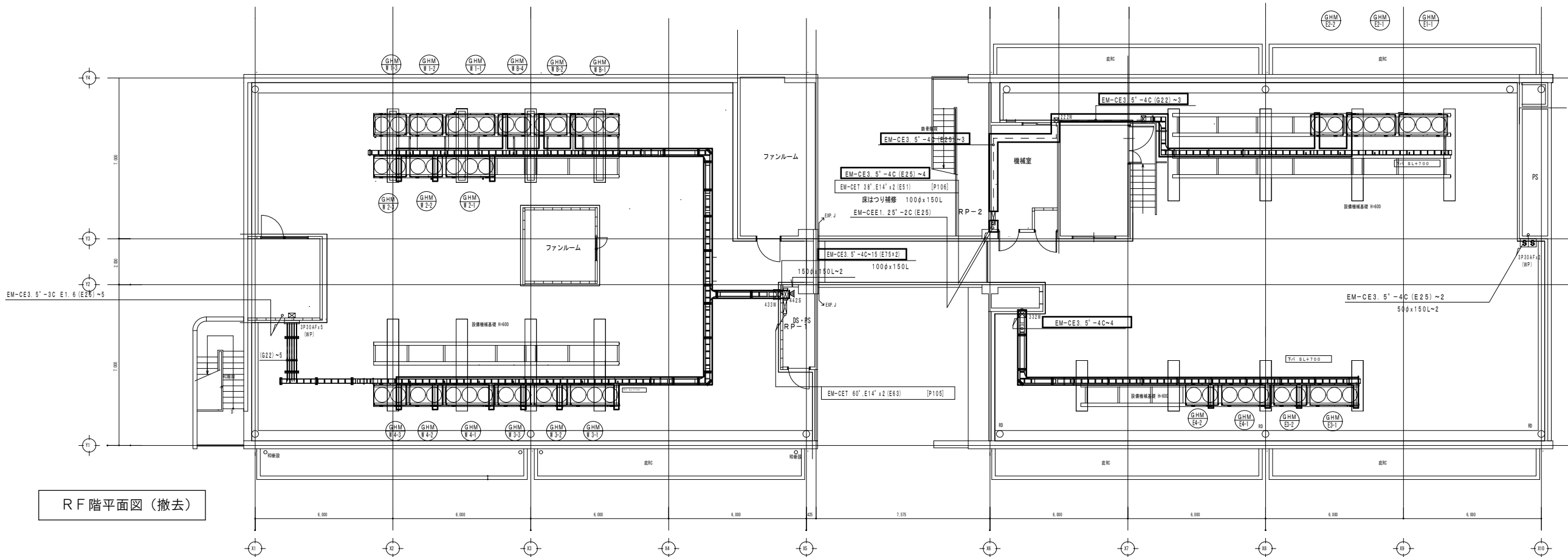
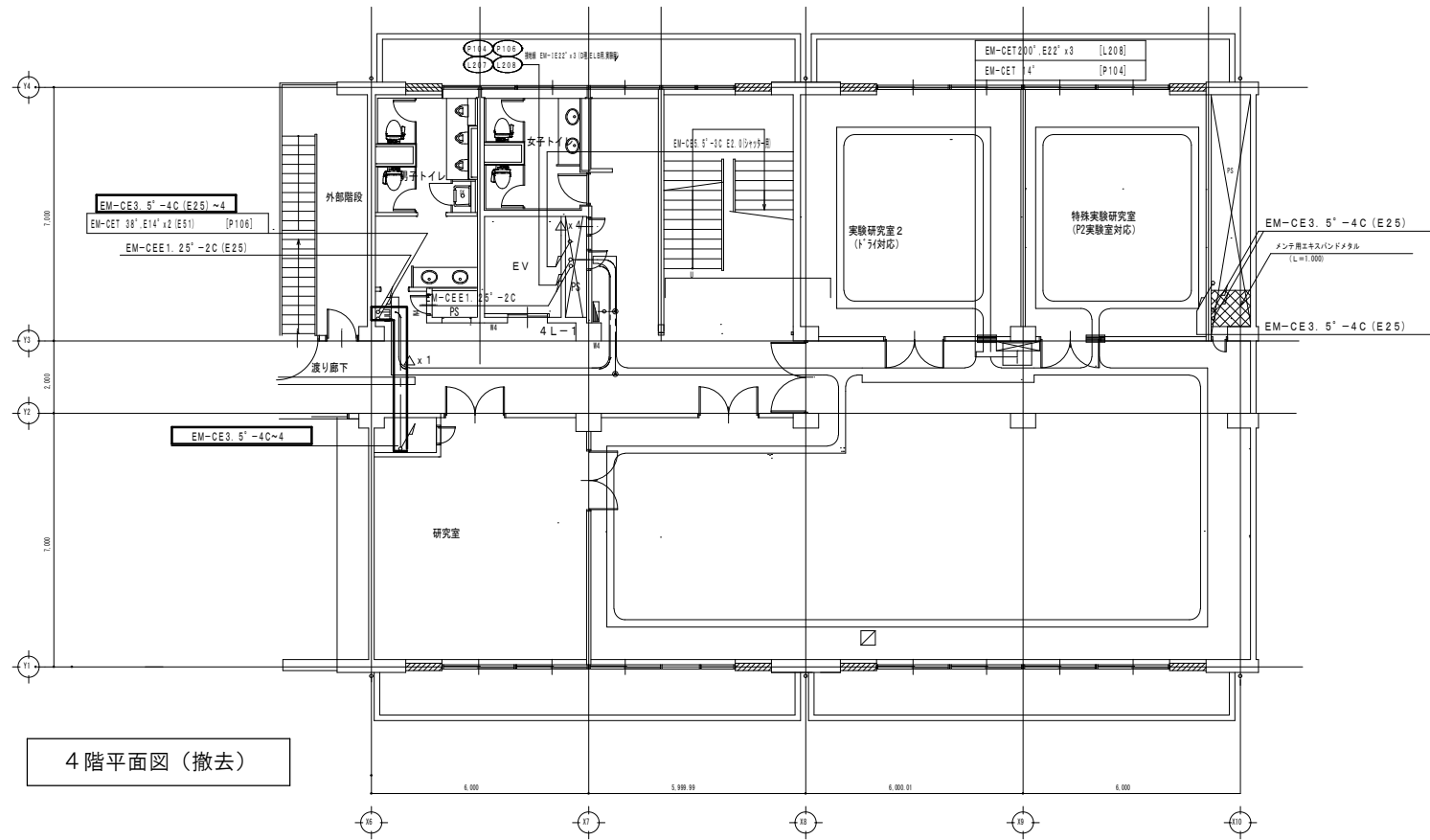
種 別	項 目	本工事	別契約	備 考
改 修	一次電源配線（200V）		●	既設低圧動力盤～ 室外機電源盤まで
	一次電源配線接続	●		一次電源配線の動力盤への接続
	二次側電源供給	●		室外機電源盤～室外機まで （ラック、配管、配線新設）
	室外機電源盤新設	●		
撤 去	既設空調電源盤	残置		既設盤は2次側電源の撤去後に残置
	既設二次側電源配線	●		既設空調電源盤～既設室外機まで
	室内機との連絡線	再利用		配線は既設再利用として、機器更新に 伴う離線・再接続は本工事とする
	既設管路・ラック	残置		配線の撤去後に残置
	既設一次側電源配線	残置		

●室内機関係

室内機の電源線、連絡線、リモコン線は既設再利用とし、室内機更新に伴う配線の離線・再接続は本工事で全て行うこと。

工事名称		決裁欄	
東京大学（白金台）2号館空調設備改修工事		東京大学	
図面名称		縮 尺	年度
空気調和設備 動力設備単線結線図・盤姿図・工事区分表 [改修]		-	R 8
		図面番号	
		M-12	

負荷機器表						
記 号	機 器 名 称	台数	電 圧	容 量	配 線	保 護 管
GHW-WB-1	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	2.08	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)
GHW-WB-2	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	1.57	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)
GHP-WB-4	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	1.17	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)
GHW-W1-1	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	2.08	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)
GHW-W1-2	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	1.57	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)
GHW-W1-3	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	1.17	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)
GHW-W2-1	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	2.08	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)
GHW-W2-2	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	1.17	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)
GHW-W2-3	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	1.17	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)
GHW-W3-1	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	2.08	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)
GHW-W3-2	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	1.57	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)
GHW-W3-3	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	1.17	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)
GHW-W4-1	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	2.08	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)
GHW-W4-2	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	1.17	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)
GHW-W4-3	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	1.17	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)
GHW-E1-1	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	2.08	EM-CE3.5'-3C E1.6	(G22)
GHW-E2-1	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	2.08	EM-CE3.5'-3C E1.6	(G22)
GHW-E2-2	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	1.17	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)
GHW-E3-1	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	2.08	EM-CE3.5'-3C E1.6	(G22)
GHW-E3-2	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	1.17	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)
GHW-E4-1	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	2.08	EM-CE3.5'-3C E1.6	(G22)
GHW-E4-2	ガスヒートポンプパッケージ室外機	1	3φ200V	1.17	EM-CE2'-3C E1.6	(G22)



□ : 撤去 (電源配線)

工事名称		東京大学 (白金台) 2号館空調設備改修工事		決裁欄	
図面名称		空気調和設備 動力設備 4階・R F階平面図 [撤去]		東京大学	
				縮 尺	年度
				1/200	R 8
				図面番号	
				M- 1 3	